

平成24年度校長室だより



# 夢に向かって

第8号

【発行元：下野市立国分寺小学校長 鈴木伸一】 平成25年1月11日

聴き合ってやさしき風を流し、学び合って命を輝かせよう

自分の命は自分で守ろう

夢に向かって生きよう



## ● 本年もよろしくお願ひいたします

平成24年が去り、平成25年（2013年）がやってきました。

皆様には昨年中大変お世話になりました。13日間の冬休み、お子様は年末年始と多くの貴重な体験をされたことでしょう。そして、大きな事件・事故もなく後期後半を迎えられますことを、保護者の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

今後も、インフルエンザや、ノロウイルスによる感染症が心配されます。これからも、お子様に手洗い、うがい、必要に応じてのマスク着用の励行とともに、具合の優れないときは、ご家庭での休養と医療機関への受診をお願いします。

8日の朝会でお子様たちに、次のように話しました。（以下常体にて掲載）  
～平成25年、西暦2013年も始まり、もうすでに8日目を迎えた。そして、今日から後期後半が始まる。

昨年12月25日には、日本はもちろんのこと世界で活躍する国際サッカー連盟の国際副審である相楽亨さんをお招きしてお話をしてもらったが、後期後半を始めるにあたりわたしたちのめあてである「進んで学び やさしく 元気いっぱい 夢に向かって生きる」ために復習してみよう。

順番が逆になるが、始めに「夢に向かって生きる大切さ」を教えてくれた。それは、自分の夢がないと他の人と比べて、幸せや不幸を感じるようになる。そうなると、例えば、自分より、よい環境にある人、自分よりお金持ちがいつまでも気になって、一生幸せを感じる事ができない。自分の夢に向かって生きれば、その夢を達成したことで最高の幸せが得られる。

だから二つ目「夢に向かって頑張ろう」。しかし、すべての人が最初の夢をかなえられるわけではない。その夢がかなえられないと思っても、あきらめてはいけない。少しずつ自分に合った夢に、あるいは方法に変えていっていいんだ。

三つ目は「夢が無理だと思う自分に勝とう」。

そのためには四つ目、「自分に自信をもつ」ことが大切。自分自身の自信をふくらませていくためには、「生活の中の小さな夢、小さな簡単な目標を立てそれを達成させていくことを続けていく」ことにより、大きな自信をもった強い心の人になれる。

どうぞ皆さんも「一年の計は、元旦にあり」と言う言葉のように、まずは1年の計画をしっかりと立てよう。そしてその計画の達成のために、毎日の小さなめあてを立てそれに努力しひとつひとつできるようにすることにより、自信を大きくして「夢に向かって生きて」いこう。

さて、今年、干支（えと）の十二支でいうと、みどし（巳年）。動物にあてはめると「蛇」になるが、蛇が好きな人は少ないが、昔から蛇は、谷や沼の神様、作物がたくさん収穫できる神様、お天気のお神様など、自然界の神様として崇められてきた。

また、蛇は脱皮することから「復活と再生」を思い起こさせ、巳の特徴は「探求心と情熱」だそう。また、蛇は執念深いとされているが「恩を忘れず、助けてくれた人には恩返しをする」といわれている。

「探求心と情熱」「復活と再生」は正に相楽さんが教えてくださったこととつながり、「人を助ける」や「恩返し」は「やさしさ」そのもの。

巳年の今年をますます「進んで学び やさしく 元気いっぱい 夢に向かって生きる」年にしていこう。

最後に、いよいよ、今年度も残り3か月、特に、1年間のうちで最も短くて忙しい時期、しかし最も大切な時期だ。今年度のまとめと、6年生は中学校進学、そしてほかの皆さんは新しい学年への進級の準備をしっかりとやっていこう。～

本年も、お子様一人一人の大いなる成長につながる実り多き年となりますよう、教職員一丸となって努力して参りますので、ご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。